

関節ファシリテーション学会 四国支部

-四国交流会-

No.4

第 40 回 四国交流会

日時：令和元年 8 月 3 日（土）・4 日（日）

内容：「SJF 技術・基本的動作介助法」

講師：築山尚司先生（岡山大学病院 総合リハビリテーション部士長 SJF 学会地方理事）

会場：香川労災病院



今回 40 回目となる四国交流会は 8 月の暑さの中、開催されましたが、その暑さに負けない程の築山先生の熱いご指導を頂き、濃密な交流会となりました。

まず、基本的動作介助法ですが、初心に立ち返り、基本からご指導いただきました。特に患者を持ち上げるような介助を行うのではなく、上から押すようにすることで患者の力を引き出しながら介助ができ、それが訓練になるとご指導いただきました。

次に SJF 技術については、上肢の技術に関して肩複合体として肩甲窩上腕関節だけでなく、肩鎖関節や胸鎖関節の治療を行うことが重要であり、特に肩鎖関節では遊びの技術、構成運動の技術で様々な方法をご指導いただきました。また、僧帽筋の筋スパズムについては第 2.3 肋横突関節などの IMD に対する治療を学びました。下肢の技術に関しては、距腿関節、距踵関節、脛骨大腿関節、股関節を中心にご指導頂きました。その中では補助講師の先生方が、基礎コースに向けて一生懸命に指導を受けて準備をしている様子を垣間見ることができ、今まで以上に学習と研鑽を積んでいかなければならないという気持ちになりました。

体幹の技術である LS については、骨盤の操作方法によっては目的とする運動にならなかつたりするため、注意して行わなければならないとご指導頂きました。また補助講師の先生からは軽く動く方向をしっかりと感じ取ることが重要であるとご指導いただきました。最後になりますが、築山先生、補助講師の先生方、参加者の方々、暑い中お集まり頂き、誠にありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。